

平成 30 年度
燕市教育行政評価結果報告書



燕市教育委員会



目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育委員会の事業一覧

1. 平成30年度に実施した教育委員会の主要事業一覧・・・・・・・・ 3

III 点検・評価の結果

【平成30年度評価対象事業】

1. 「地域に根ざす学校応援団事業」・・・・・・・・・・・・ 13
2. 「羽ばたけつばくろ応援事業」・・・・・・・・・・・・ 15
3. 「三ツ星給食プロジェクト」・・・・・・・・・・・・ 17
4. 「分水小学校区における新たな保育園整備事業」・・・・ 19
5. 「児童クラブ運営事業」・・・・・・・・・・・・ 21
6. 「病児・病後児保育事業」・・・・・・・・・・・・ 23
7. 「家庭教育推進事業」・・・・・・・・・・・・ 25
8. 「埋蔵文化財事業」・・・・・・・・・・・・ 27
9. 「ホストタウン推進事業」・・・・・・・・・・・・ 29

【第2次燕市学校教育基本計画】

10. 「第2次燕市学校教育基本計画の評価」・・・・・・・・ 31

IV 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

I はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 永 井 宏	元燕市立燕北中学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議委員
委 員 高 橋 弥 一	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

平成30年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、9事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第2次燕市学校教育基本計画についても、点検及び評価を実施していただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
平成30年 12月18日(火)	委員3名(永井委員長、小林副委員長、高橋委員)、及び事務局職員7名	- 平成30年度事業視察 ① 吉田図書館 ② 松長小学校(プログラミング教育) ③ 児童研修館運営事業(こどもの森) ④ 東部学校給食センター(学校給食の試食)
令和元年 5月31日(金)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員10名	- 事業評価作業 - 第2次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和元年 7月9日(火)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課参事及び事務局職員11名	報告書取りまとめ

Ⅱ. 教育委員会の事業一覧

1. 平成 30 年度に実施した主要事業一覧

課名	No.	事業名	事業の概要
学 校 教 育 課	1	Jack & Betty プロジェクト 【H28 評価対象事業】	外国語指導助手（ALT）3人と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・子ども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。また、Jack & Betty 教室に加え、英語スピーチコンテスト、親善大使海外派遣事業、夏休み英会話教室、English Summer Camp を引き続き実施し、英語力の向上に努めました。
	2	特別支援学校就学援助事業	当市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。
	3	奨学金貸付事業	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して、奨学金の貸与を行いました。
	4	学校教育管理費	教職員用パソコンの配置と校務支援システムの運用により、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。
	5	地域に根ざす学校応援団事業 【H30 評価対象事業】	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目的として、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を図りました。地域住民の参加による「放課後等の学習支援活動」にも取り組み、学力向上を図りました。
	6	I C T 教育推進事業 【H29 評価対象事業】	市内の小・中学校に電子黒板等を配備し、子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、授業の幅を広げ、分かりやすい授業を展開しました。また、I C T 支援員を配置し、I C T 機器（タブレット P C ・電子黒板）・ソフトウェアの積極的な活用支援等を行いました。
	7	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成30年度改定）」を活用し、各小学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。 平成30年度のジュニア検定は、市内小学生2,744人が受検しました。また、問題集について、平成29年度で初版から6年が経過したため、見直しを行い、平成30年度に新しい問題集を作成しました。
	8	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場の際、遠征費の補助を行いました。 【補助人数及び補助額】 小学生 54人 1,286千円 中学生 57人 1,860千円

課名	No.	事業名	事業の概要
学校教育課	9	姉妹都市子ども交流事業	姉妹都市のアメリカ合衆国ダンディ村から生徒4人と引率1人を受け入れ、市民宅でのホームステイや児童生徒との交流などを通じて青少年の国際理解を深めました。なお、本事業は燕市の中学生派遣とダンディ村からの生徒受入を隔年で実施しています。
	10	長善館学習塾事業	市内の小学6年生を対象に、ふるさと燕市を愛し、様々な分野において活躍する次世代の人材を育成するため、社会性や生きる力を育むことを目的とした南魚沼での宿泊体験や防災教室等、長善館の精神を活かした体験をする長善館学習塾を開催し、16人が参加しました。
	11	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて、理解できる生徒を育成するため、市内5中学校から代表生徒それぞれ1人を、広島平和記念式典に派遣しました。
	12	笑顔で入学支援事業	全小学校15校において入学予定児童のおよそ620人の保護者を対象に講演会を開催し、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にするための支援を行いました。
	13	燕キャプテンミーティング	市内中学校の部活動リーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月26日から28日まで、講演会の開催やコミュニケーション活動などを実施しました。3日間で延べ222人の中学1・2年生が参加しました。
	14	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しています。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書業務嘱託員を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。
	15	羽ばたけつばくろ応援事業 【H30 評価対象事業】	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 団体：6件 986千円
	16	つばめキッズファーム事業 【H28 評価対象事業】	市内の小学校15校を対象に、子どもたちが農業の収穫の喜びを体験し、子どもたちを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための農業体験について、補助金を交付しました。
	17	Good Job つばめ推進事業 【H28 評価対象事業】 【H29 評価対象事業】	生徒がふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、職場体験を5日間実施し、キャリア教育の一層の充実を図りました。また、学校から受入事業所までの送迎を行い、生徒が体験できる職業の拡充を図りました。
	18	高校とともに創る輝く人材育成事業	「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。 【補助高校数及び補助額】 2校 425千円

課名	No.	事業名	事業の概要
学校教育課	19	入学準備金貸付事業	高等学校等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等に対し、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。
	20	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）や学校生活の満足度検査（QU）を実施しました。
	21	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員20人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより、児童生徒の健全育成を推進しました。
	22	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力等）向上を図るため、各種研修会43講座を教育委員会が主管して実施しました。
	23	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	児童生徒の「言葉の力」の育成や、小中の連携強化を目指して、最新の専門的理論などの研究に携わる、新潟大学教育学部の教授・准教授を指導者として招聘して、国語・外国語において、計画的・継続的に指導助言を受けました。国語7校（燕西小、吉田南小、全中学校）、外国語7校（燕南小、島上小、全中学校）で授業研究を進めました。
	24	中学生学力向上対策プロジェクト	学力向上を図るため、国語担当者会議（年9回）、数学担当者会議（年9回）、数学学力診断問題（年3回）、英語主任研修（年5回）、英語科教員研修（年22回）を実施しました。
	25	学校不応・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。
	26	スクールソーシャルワーカー派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。
	27	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に適応指導教室を設置し、個人の状況に合わせた学習や活動を行い、学校生活への復帰を支援しました。
	28	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒に対し、学習支援を目的に各中学校に別室登校支援員を配置し、学級復帰を支援しました。
	29	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
	30	言語・発達障がい通級指導教室運営費	言語や発達の特性に応じて子どもが積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。
	31	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。

課名	No.	事業名	事業の概要
学校教育課	32	視聴覚ライブラリー運営費	DVD、ビデオ等の教材や機材の貸出により、映像を取り入れた教育に関する支援を行いました。
	33	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。子どもを取り巻く環境の変化に対応するため、学校・家庭・地域の連携による課題解決について協議する場として「燕市子どもを育む推進協議会」を2回開催しました。
	34	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修や、児童生徒や市民を対象とした科学に関するイベントを実施しました。
	35	小学校遠距離通学支援事業	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
	36	小学校教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。
	37	小学校理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
	38	小学校整備事業	分水小学校受水槽等改修工事や燕東小学校高架水槽改修工事など、各小学校施設の整備・修繕を行いました。
	39	分水小学校設備改修事業	分水小学校の老朽化した消防用設備の改修工事を、平成28年度から3カ年かけて行いました。最終年度となる平成30年度は、消火設備を改修しました。
	40	小学校施設ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、児童や地域住民の安全確保を図るため、小学校5校（燕南小学校、小池小学校、大関小学校、小中川小学校、島上小学校）でブロック塀等の撤去等を実施しました。
	41	大関小学校体育館外壁改修事業	大関小学校体育館の外壁の一部が老朽化していたため、改修工事を行いました。
	42	小学校エアコン整備事業	昨今の夏季の記録的な猛暑に対応するため、小学校14校の普通教室等にエアコンを設置する工事に着手しました。
	43	栗生津小学校大規模改造事業〔明許繰越〕	昭和57年に建設され、外壁からの雨漏りなど校舎の老朽化が進んでいたため、大規模改造工事を行いました。
	44	中学校遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。

課名	No.	事業名	事業の概要
学校教育課	45	中学校教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等に対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。 見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。
	46	中学校理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
	47	部活動外部人材活用事業 【H29評価対象事業】	市内中学校の運動部活動に専門的な技術指導力を有する指導者を4人派遣し、運動部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。
	48	中学校整備事業	吉田中学校受水槽等改修工事や吉田中学校コンピュータ室エアコン改修工事など、各中学校施設の整備・修繕を行いました。
	49	中学校施設ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、生徒や地域住民の安全確保を図るため、吉田中学校で石積塀の撤去等を実施しました。
	50	学校衛生管理費	児童、生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。
	51	学校給食運営費	学校給食を円滑に運営するため、学校給食運営委員会及びアレルギー対応委員会を開催しました。
	52	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒等約6,700人に対して、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。 ・年間1人あたりの給食回数（小学校約190回、中学校約188回） ・給食1食単価（小学校275円、中学校320円）
	53	三ツ星給食プロジェクト 【H30評価対象事業】	東部学校給食センターの開設にあわせ、学校給食の新しい人気定番メニューの開発に取り組みました。本市出身の料理研究家の村山瑛子さんと連携して、「トマみそカレー豚丼」を開発し、市内小中学校で給食として提供するとともに、地産地消の推進にも取り組みました。

課名	No.	事業名	事業の概要
子育て支援課	54	児童福祉総務費	令和2年度から5年間を計画期間とする第2期燕市子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、市内に居住する0歳から就学前の子どもをもつ保護者及び市内に居住する小学1～3年生の児童をもつ保護者を対象とした、教育・保育・子育て支援に関するニーズ調査を実施しました。
	55	保育園運営費	次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園17カ所と市立こども園2カ所で保育を実施しました。
	56	保育園整備事業	燕こども園の駐車場用地を取得し造成工事を行ったほか、大曲八王寺保育園床暖房設備改修や吉田日之出保育園の老朽化した空調設備の入替えなど、保育環境改善工事を実施しました。
	57	私立認可保育所経費	市内の私立認可保育園4カ所（平成31年3月31日現在、園児数359人）へ保育事業を委託しました。
	58	保育所広域入所委託事業	家庭の事情により市内の保育園への通園が困難な児童について、市外の保育園等へ保育を委託しました。
	59	私立認定こども園経費	市内の私立認定こども園2カ所（平成31年3月31日現在、園児数472人）の施設型給付費及び市外の私立認定こども園3カ所（平成31年3月31日現在、園児数6人）の施設型給付費を負担しました。
	60	分水小学校区における新たな保育園整備事業 【H30 評価対象事業】	平成29年度から平成30年度までの債務負担行為を設定し、県央土地開発公社の事業として用地の先行取得及び造成工事を行いました。また、事業完了後に造成後の事業用地を市が取得しました。
	61	保育園エアコン整備事業 【H28 評価対象事業】	つぼみ保育園の4歳児及び5歳児保育室に、空調設備（冷暖房）を設置しました。
	62	保育園施設ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、園児や地域住民の安全確保を図るため、吉田西太田保育園、吉田日之出保育園、地藏堂保育園及び笈ヶ島保育園のブロック塀の撤去等を実施しました。
	63	児童館運営事業 【H29 評価対象事業】	遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、また、親子のふれあいの場、交流の場として、7カ所の児童館の運営を行いました。（来館者数：144,807人）
	64	児童研修館運営事業	乳幼児や児童とその保護者を対象に各種教室や体験活動など地域子育て支援事業を実施し、子どもたちの豊かな感性を育む場として児童研修館こどもの森の運営を行いました。（来館者数：41,044人）
	65	児童館ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、施設利用者や地域住民の安全確保を図るため、白山町児童館のブロック塀の撤去等を実施しました。
	66	児童クラブ運営事業 【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】	就労等により、昼間保護者が家にいない小学1～6年生の児童を放課後に預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進しました。 （児童クラブ：18カ所、放課後児童901人）

課名	No.	事業名	事業の概要
子育て支援課	67	なかまの会管理運営費	異年齢の交流や、放課後等の安全な居場所の確保のため、5カ所のなかまの会の運営を行いました。（利用児童数：延べ43,458人）
	68	地域子育て支援事業 【H29 評価対象事業】	保育園等に入園していない子育て家庭の育児相談指導と情報提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内8施設の子育て支援センターで行い、燕市の子育て支援の充実を図りました。また、第3子以降の赤ちゃん誕生に関する事業で、中学校入学対象者等の子育て支援金を支給しました。
	69	ファミリー・サポート・センター運営事業	仕事と育児の両立を支援するため、ファミリー・サポート・センター事業を、子育て総合支援センター「すくすく」内にアドバイザーを1人配置し実施しました。
	70	病児・病後児保育事業 【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】	病気や病後で通園または通学ができず家庭での療養も困難な子どもを、病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）で一時的に預かり、保護者の就労と子育ての両立を支援しました。 （事前登録者数：1,379人、利用者数：776人）
	71	地域子育て支援講座事業	同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とする子育て支援講座事業を実施しました。
	72	子育てつばめメール配信事業 【H29 評価対象事業】	子育てつばめメールやすこやか家族応援情報ページにより、相談窓口や支援制度、イベント等の子育てに関する情報の配信を実施しました。 （子育てつばめメール登録件数：955人、すこやか家族応援情報ページアクセス数：44,364件）
	73	地域子育て支援センターブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、施設利用者や地域住民の安全確保を図るため、さくらんぼハウス（吉田地域コミュニティセンター）のブロック塀の撤去等を実施しました。
	74	幼稚園運営費	市立幼稚園2カ所（平成31年3月31日現在、園児数40人）で幼児教育を実施しました。
	75	幼稚園総務費	市立幼稚園の管理を行いました。また、市外の私立幼稚園へ区域外就園した児童のための施設型給付費を負担しました。
	76	幼稚園エアコン整備事業	燕東幼稚園及び燕北幼稚園の保育室等の環境改善を図るため、空調設備（冷暖房）を設置しました。
	77	幼稚園施設ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、園児や地域住民の安全確保を図るため、燕東幼稚園のブロック塀の撤去等を実施しました。

課名	No.	事業名	事業の概要
社会教育課	78	勤労青少年ホーム管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
	79	生涯学習推進費 【H28 評価対象事業】	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和4年度）の進捗管理について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（1回）を開催しました。また、「生涯学習人材バンク」の講師登録を随時更新し、利用を促進しました。
	80	社会教育総務費	社会教育行政に係る社会教育委員の会議（2回）を開催しました。また、県内社会教育委員との情報交換・研究協議に係る研究集会等へ参加しました。
	81	成人式事業費	新成人659人を平成31年3月17日（日）に燕三条地場産業振興センターに招き、成人式を行いました。（対象者：平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれで、市内在住または以前に住んだことがある人等）
	82	家庭教育推進事業 【H30 評価対象事業】	幼稚園・保育園・こども園の保護者会や、小・中学校のPTAが開催する講演会等にかかる講師謝礼について、7,000円を上限に助成を行いました。
	83	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。また、屋上出入りロドアの修繕などを行いました。
	84	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。
	85	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、IT講習会、燕大学、つばめ目耕塾、子ども体験講座、風の子くらぶなどの講座を開催しました。
	86	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭・芸能発表会を行うとともに、成人や青少年を対象とした講座を行いました。
	87	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。
	88	分館事業	中央公民館5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。
	89	市民交流センター管理運営費	市民交流センターの管理運営を行いました。
	90	吉田北体育文化センター改修事業	吉田北体育文化センターの公民館棟の屋上防水や体育館棟の天井耐震などの改修工事を行いました。
	91	図書館管理運営費	市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。また、図書館協議会を2回開催し図書館運営や子どもたちの読書活動の推進についてご意見をいただきました。
	92	燕市立図書館空調設備等改修事業	燕市立図書館の空調設備やトイレ洋式化などの改修工事を行いました。なお、工事期間中は中央公民館に仮設図書館を開設して対応しました。

課名	No.	事業名	事業の概要
社会教育課	93	青少年育成センター事業	青少年への街頭補導活動及び社会環境浄化活動等を行いました。また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談（88件）、職場見学・ジョブトレーニング・各種セミナーなどを行いました。
	94	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）の開催や、外部階段手摺取付工事と非常照明設備の修繕工事等を行いました。
	95	自主事業 【H29 評価対象事業】	市民へ質の高い舞台芸術を提供するため、小学校合同鑑賞会やNHK民謡をたずねての公開録音、陸上自衛隊音楽隊コンサートなどの自主事業を実施しました。また、自主的な文化活動を行う市民団体に対して、事業費助成（1団体、300千円）を行いました。
	96	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。
	97	分水良寛史料館管理運営費	分水良寛史料館の管理運営を行いました。
	98	分水良寛史料館展示事業	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展等を開催しました。
	99	長善館史料館管理運営費	長善館史料館の管理運営を行いました。長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展等を開催しました。また、引き続き、筑波大学と連携し、長善館歴代館主の日記解読を行い、製本した日記を史料館に配置しました。
	100	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備などを実施しました。また、文化財をテーマにした動画「ぶらつばめ」を制作・公開するなど、文化財のPRを行いました。
	101	埋蔵文化財事業 【H30 評価対象事業】	市内遺跡の発掘調査を実施するとともに、各種工事の立ち会い等埋蔵文化財を保護しました。また、遺跡出土品展等を開催して、埋蔵文化財の公開活用に努めました。
	102	文化振興事業	文化団体（文化協会、郷土史研究会連合会）に対する活動支援、燕市美術展覧会、良寛書道展、つばめっ子かるた大会の開催、「郷土史燕」、「文芸つばめ」の刊行を行いました。
	103	体育振興費	燕市スポーツ協会とスポーツ少年団の育成を図るとともに、スポーツ推進審議会の運営や全国大会出場激励金の交付を行いました。また、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。
	104	生涯スポーツ振興費 【H28 評価対象事業】	燕市体育協会にスポーツ大会やスポーツ教室の委託を行うとともに、健康づくり教室やニュースポーツ等の大会を開催し、市民の健康づくりや競技力向上に努めました。また、子どもの体力向上サポート事業（ヘキサスロン）の実施により、子どもの体力向上を図りました。

課名	No.	事業名	事業の概要
社会 教育 課	105	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業 【H29 評価対象事業】	東京ヤクルトスワローズ球団と縁の深い4都市の交流事業として行っている東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会を平成30年度は燕市で開催しました。 【関係市】 燕市、松山市、浦添市、西都市
	106	ホストタウン推進事業 【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】	市民のオリンピック・パラリンピックへの関心を高めるため、オリンピックやトップアスリートによる講演会や講習会を開催しました。また、「あすチャレスクール」（市内小中学校5校）、「あすチャレアカデミー」やモンゴル語入門講座（4回）を開催しました。
	107	スポーツ拠点化推進事業 【H29 評価対象事業】	地域の活性化を図るため、スポーツ大会や合宿の誘致、アスリート弁当の販売促進などを行いました。また、それらの業務を担うスポーツコミッションを設立するため、地域おこし協力隊の募集活動を行いました。なお、スポーツ大会・合宿の誘致では、モンゴル国パラアーチェリー選手団の合宿や北信越の各種大会など8大会を本市で開催しました。
	108	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行いました。また、燕北多目的武道場、屋外プール3カ所の施設管理を行いました。
	109	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。
	110	スポーツランド燕トイレ及び外装改修事業	スポーツランド燕の屋内運動場の外装改修とトイレ洋式化改修を行いました。
	111	燕市民体育館受変電設備等改修事業	燕市民体育館の自家発電設備や受変電設備などの改修工事を行いました。
	112	体育施設ブロック塀等対策事業	ブロック塀等の安全点検結果に基づき、施設利用者や地域住民の安全確保を図るため、分水テニスコート及び吉田武道館でブロック塀の撤去等を実施しました。
	113	開放施設管理費	市内小中学校の体育館及びナイター設備を含むグラウンドの一般開放を行いました。

Ⅲ. 点検・評価の結果

【平成 30 年度評価対象事業】

平成 30 年度 教育行政評価報告書

＜知・徳・体を育成する教育の推進＞

点検項目	地域に根ざす学校応援団事業
30 年度達成目標	教員が児童生徒と向き合う時間を拡充させることにより、児童生徒の地域への愛着を醸成し、児童生徒の「生きる力」を育成する。
目標の達成状況	(1)放課後学習支援の実施校数及び行ったのべ時間 H29：17 校、H30：20 校 H29：1,223 時間、H30：1,573 時間 (2)事業実施学校数 H29：20 校、H30：20 校 (3)地域コーディネーター活動時間数 H29：4,944 時間、H30：4,395 時間 (4)協力してくれたボランティア数 H29：140 人、H30：149 人
取組の概要	(1)事業の趣旨理解や課題解決のための研修会の実施 地域に根ざす学校応援団事業研修① 4 月 26 日 地域に根ざす学校応援団事業研修② 10 月 5 日 (2)地域住民による放課後等における学習支援活動 各学校で放課後学習を行う児童生徒に対する助言、見守り (3)地域住民による学校の教育活動に対する支援活動 田植えや稲刈りの指導、校外学習補助、図書館の環境整備、裁縫、楽器演奏や書道等における専門的な指導、野菜栽培の指導、校地内外の緑化事業への助言、など

自己評価	地域人材を活用することによって、児童生徒の学習意欲が高まり、事業の効果があらわれている。また、活動内容について地域コーディネーターと学校職員が協議をすることで新たな活動が生み出されている。 しかしながら、支援ボランティアを増やしている学校がある一方で苦慮している学校もあるため、研修会等で市内の学校の取組事例を紹介するなど情報の共有化を図っている。
評価委員の評価	地域では、元気な高齢者がたくさんいると思うが、地域コーディネーターや支援ボランティアとして地域人材の活用を図ってもらい、子どもたちとの交流を通じて、「生活の知恵」や「地域の特色」など、昔からある知識を聴く機会として、引き続き地域全体に広げていてもらいたい。 また、自己評価ではボランティアの確保に苦慮している学校もあるとのことであるが、今後も校外学習の見守りなどのニーズの把握に努め、地域の方がボランティアを継続できるよう、気軽に幅広く支援できる体制を整備していただきたい。
今後の方向性	今後も、本事業に協力いただける地域の人材を発掘し、支援ボランティアの増員に取り組むことで事業の拡充を図る。 また、ボランティア等の人材確保に苦慮している学校に関しては、「まちづくり協議会」等の地域団体に協力を仰ぐなど、方策を検討しながら、全ての学校が平準化する体制の整備を構築する。

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	羽ばたけつばくろ応援事業
30 年度達成目標	アンケートやヒアリング等により、補助者の夢の達成に向けた進路や地域活動等への参加などの調査を行うことについて検討し、実施する。
目標の達成状況	平成 30 年度の事業では、申請者の活動が終了した後にアンケートを実施し、当事業参加後に感じた自身の变化した点や、活動を経験したことで夢や目標の実現に向けて取り組んだこと、今後取り組んでみたいことなどについて調査を行った。 平成 30 年度に行ったアンケート結果は、今後どのような対象に向けて事業をPRしていけばよいか、また、当事業に参加することによりどのような力が身につくかなど、次年度以降の事業充実のための資料となった。
取組の概要	当事業は平成 27 年からスタートし、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、小学生から 20 歳までを対象とし、自己啓発・体験活動・学習・研修視察など自由な企画を募集し、その活動費を助成する取組みを実施。 ○個人での申請は高校生から 20 歳までで、補助額の上限は 10 万円。団体での申請は小学生から 20 歳までで、補助額の上限は 25 万円。 ○申請者は 1 次審査である書類審査を経て、審査員の前で応募企画をプレゼンテーションする発表形式の 2 次審査を受ける。また、年度末には成果報告会を実施し、当事業で得た成果を審査員や地域住民の前で発表する。

自己評価	今年度は6団体が申請を行い、申請件数は例年並みであった。 平成 30 年度は申請者の活動終了後にアンケートを実施した。アンケートでは、企画を立案し、実施することで自身の成長を感じた申請者がいたことはもちろん、発表形式の審査会や成果報告会を通し、プレゼンテーション能力や人に説明をする力が向上したと感じる申請者が多数いたことなど、申請者が当事業で経験したことをより詳しく知ることができた。 申請者に対するアンケートは次年度以降も継続して行い、当事業に参加することで申請者がどのような能力が向上したと感じたか、また事業に参加した経験を活かし、どのような活動を行うようになったかなど資料を集め、今後の事業内容の充実や事業PRの際の参考としていく。
評価委員の評価	応募者自らが企画のプレゼンテーションを行い、補助金を得て企画を実行していくシステムは、金銭感覚を養うことや費用対効果を考える機会として大いに評価できる。このことは、児童生徒にとって将来役立つ経験となるものと考えている。 児童生徒の自発的な取り組みの機会を提供する事業として、チャレンジしていく団体等がさらに広がるよう、今後もホームページ等で紹介しながら、事業周知を積極的に図っていただきたい。
今後の方向性	当事業は、児童生徒が自分自身の力で企画を立案・発表・実施する機会を得られることに加え、与えられた費用の中でどのように活動すればより良い企画として実行できるかなど、費用対効果を考える機会であることも確認できた。 引き続き、より多くの児童生徒が、主体的に夢や目標を実現する様々な活動ができるよう、今後もホームページや広報、学校への事業紹介を積極的に実施していきたいと考えている。

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	三ツ星給食プロジェクト
30 年度達成目標	給食のメニューを料理研究家とともに開発し、普段、食育や給食に関心が低い児童生徒にも興味を持ってもらうきっかけとなり、給食に対する関心が高まる。また、子どもたちが喜んで食べることで残食率の維持につなげる。 自分の住む地域で作られている地場産物について、給食を通して知ることにより、生産者の方々の努力を身近に感じ、感謝の心を育むことにつなげる。
目標の達成状況	燕市出身の料理研究家・村山瑛子さんと連携し、燕市の特色を生かした「トマみそカレー豚丼」を開発した。平成 30 年度は 2 回提供し、77 パーセントの児童生徒からおいしいという評価を得、東部・西部給食センターともほぼ完食だった。 また、給食時の放送アナウンスで、野菜を納入してくださった生産者の方々を紹介し、給食を通して地場産野菜を知り、身近に感じて興味をもって給食を食べた。 なお、野菜を納入した生産者の方々をセンターに招き、給食を提供し、地産地消の生産意欲の向上にもつながった。
取組の概要	味彩燕の老朽化に伴い、新しい学校給食センターを市が建設し、平成 30 年 4 月に供用を開始する。これを契機ととらえ、児童生徒・保護者・住民への情報発信をより一層進めるために、新しい取組として給食メニューの開発を行い、興味・関心を持ってもらえるように働きかける。 新メニューの開発にあたっては燕市出身の料理研究家・村山瑛子さんと連携し、『鶏肉のレモン和え』と並ぶような、特色があって子どもたちにとって思い出に残るような人気定番メニューを開発する。また、生産者グループの協力の下、地元野菜の地産地消を拡大していくことで給食に対する関心を持ってもらう。

自己評価	名称に当たっては、メニューを給食で喫食した児童生徒からアンケートをとり、「トマみそカレー豚丼」に決定した。命名することや地元の野菜を取り入れたことでメニューや給食に愛着がわき、興味関心が高まったと感じる。 また、アンケート結果では、おいしかったが77パーセントで児童生徒に好評だった。 地元の食材を使用し、定期的に給食を提供していくことで、人気定番メニューになるよう定着を図っていく。
評価委員の評価	この事業は食育の観点からも、地産地消を理解していくうえでも評価できる取り組みと考えている。市全体にレシピが広がって、『鶏肉のレモン和え』のように、家庭で味の特色がでるまでになるよう、地元の看板メニューを目指して取り組んでいただきたい。 学校では、給食を食べる量やスピードに個人差があると思うが、児童生徒が給食の時間を楽しめるよう、それぞれの学校で対策を講じていていただきたい。また、次の新メニューの開発にも取り組んでいただくことを期待する。
今後の方向性	「トマみそカレー豚丼」については、今後も定期的に提供し、子どもたちに親しまれる人気定番メニューとなるよう努めていく。 また、「給食だより」やホームページ、広報つばめにレシピを掲載し、家庭料理として普及させることも目指していく。 また、地域での普及を推進するため、燕市食生活改善推進委員が地区で行う調理実習のメニューや、味彩燕がツバメルシェで提供するワンコインメニューに取り入れることも検討していきたい。加えて、引き続きトッピングには地元野菜を使用するなど、地産地消の推進を図る。

【所管：学校教育課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	分水小学校区における新たな保育園整備事業
30 年度達成目標	将来を担う子ども達の育成を適切に行える運営事業者を選定することにより、地域住民が安心して産み育てられる子育て環境を整える。 成果指標の目標 ① 保護者や地域への周知活動 6回 ② 応募事業者数 2法人以上
目標の達成状況	保護者や地域への周知活動については、平成29年度に事業の周知を6回開催しており、平成30年度は事業者の選定と事業用地の整備が主な事業内容であったため、整備（道路等）説明会のみとなり、実績に結びつかなかった。 応募事業者数につきましては、県内全域に募集範囲を拡大したことにより、一定の成果があった。 ① 保護者や地域への周知活動 0回 ② 応募事業者数 2法人
取組の概要	応募事業者の公募に当たっては、過去の応募状況や選定結果を考慮し、募集要項を策定した。
自己評価	応募事業者のプレゼンテーションを公開で実施したことにより、地域住民や保護者の皆様に選定過程の可視化を図り、新たな保育園の整備事業の周知に努めた。 また、選定の結果を「民営化つうしん」や燕市のホームページにより掲示し、情報の開示に努めた。

評価委員の評価	公立から民間に移行することにより、保育園の実態が保護者から見えにくくなるのではないかと不安があると思う。地域や保護者への説明を丁寧に行い、不安を取り除きながらスムーズに民営化できるよう、担当課のサポートを期待している。 「保育園の迎え時間は道路が混雑する。」といった声も聞かれる。建設予定地の付近には、マルイへの来店者と送迎の保護者の車により、周辺での渋滞が予想される。近隣住民が、将来「良かった」と思えるようにしていただきたい。また、説明会に参加できなかった方に対しても、情報が伝わるよう、引き続き配慮をお願いしたい。
今後の方向性	本年 5 月から保護者、事業者、教育委員会の三者による新たな保育園の運営について協議を開始した。協議の内容については、「民営化つうしん」を発行し保護者や地域の皆さまに随時お知らせするとともに、説明会を開催し協議内容を丁寧に説明していく。 また、市では、新たな保育園整備に伴い周辺道路の混雑が予想されることから、警察等と協議を行い、当該道路を整備し、交通安全の確保を図る。

【所管：子育て支援課】

＜安心して産み育てられる子育て支援＞

点検項目	児童クラブ運営事業
30 年度達成目標	児童クラブで過ごす児童一人ひとりと集団全体の生活を豊かにしていくための支援や、保護者が子育てと仕事等を両立するための支援体制を充実させる。 ①職員全体の知識向上を図る。 ②食物アレルギー対応を統一し、児童の安全管理を図る。 ③児童の受入環境の改善を図る。
目標の達成状況	①他機関等と連携しながら、様々な研修を受講する機会を設け、職員の知識の向上を図った。 ②食物アレルギーについて、正しい知識のもと、統一した対応をとるための対応マニュアルを策定した。 ③私立の児童クラブきららが、児童クラブきらら 1 組・児童クラブきらら 2 組に改編したことで、受入可能児童数が増加するとともに、燕市全体の支援単位が 17 施設から 18 施設に増えた。
取組の概要	【主な職員研修】 ○児童厚生等基礎研修（児童厚生 2 級指導員養成） 12 人 ○放課後児童支援員認定資格研修 19 人 ○地域安全マップづくり講習会 2 人 ○家庭教育支援者養成講習会 8 人 ○発達障がい者支援者研修 8 人 ○食物アレルギー研修 延べ 48 人 ○救命救急講習 48 人 【食物アレルギー対応マニュアル】 平成 30 年 10 月策定 【市内の児童クラブ数】 公立 16 施設、私立 2 施設

自己評価	児童一人ひとりの状況や発達段階を踏まえた育成支援を行うため、今後も引き続き、職員の知識や緊急時対応のレベルアップを図るための研修を実施する。 食物アレルギー対応では、児童の安心・安全を確保するとともに、事故防止のための安全管理の向上を図ることができた。 出生数が減少傾向にある一方、児童クラブのニーズは高まっていることから、施設の拡充や施設数の拡大を図る必要がある。
評価委員の評価	子どもの人数は減っても児童クラブのニーズは減らないと思っている。以前と比べて児童クラブの制度は充実してきているが、就労支援の面と放課後の安全確保の面の両方から、今後も受け入れ体制の充実に努めていただきたい。 また、食物アレルギーの対応や近年は外国籍児童の利用も年々増加しており、ニーズの多様化が進んでいるように感じる。教育委員会として特に力を入れている分野であるので、引き続き事業の推進に努めていただきたい。
今後の方向性	女性就業率の上昇等を踏まえ、且つ燕市建物系公共施設保有量適正化計画※も見据えながら、施設の今後の在り方について検討し、受け入れ体制の整備を進めていく。 また、利用者の増加に加えて、様々な配慮を必要とする児童の受け入れに対応していくため、引き続き、職員の知識や技能の向上を図り、児童クラブに通う児童の育成支援に努める。

【所管：子育て支援課】

※ 燕市建物系公共施設保有量適正化計画：将来にわたり持続可能な行政サービスを提供していくことを目的に、人口減少時代に即した公共施設保有量の適正化の推進に関する方針を定めたもの。

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	病児・病後児保育事業
30 年度達成目標	病児保育室「あおぞら」で病児・病後児保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する。 成果指標の目標 ① 年間利用者数 800 人 ② 事前登録者数 1,200 人
目標の達成状況	年間利用者数は目標に達せず、平成 29 年度と比較し横ばいで達成率は 97%であったが、事前登録者数は目標を上回った。 成果指標の実績 ① 年間利用者数 776 人 ② 事前登録者数 1,585 人
取組の概要	平成 26 年度から病児保育室「あおぞら」の運営が開始され、病気または回復期のため保育園等での集団保育ができない児童を一時的に預かり保育と看護を行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援している。 平成 28 年度からは、燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョンによる弥彦村との連携がスタートし、利用者の対象を弥彦村の住民にも広げ、さらに対象年齢を小学校 3 年生から小学校 6 年生へ引き上げた。 利用にあたっての事前登録については、ホームページの他、保育園等の入園式で新入園児および在園児の保護者へ事前登録票等を配布して周知している。
自己評価	平成 29 年度と比較し、利用者数は横ばい、事前登録者数は増加している。 利用者とは病児であり、利用者数の目標達成は必ずしも良いというものではないが、事前登録者数が増えていることから事業への理解が広がっていると考えられる。今後も事業の周知に努めたい。

評価委員の評価	病児保育室「あおぞら」の事前登録者数が前年度比で増加していることに関しては、大いに評価できる。また、対象年齢の拡大も事前登録者数の増加に結びついているものと考えている。 この事業は、市の掲げている「定住人口増」の施策の目玉になる事業であると思うので、引き続き制度の周知に努め、保護者の就労支援を図っていただきたい。
今後の方向性	認知度を上げるために、今後も病児保育室「あおぞら」や弥彦村と連携を図りながら周知に努める。

【所管：子育て支援課】

＜心豊かな生涯学習・文化活動の充実＞

点検項目	家庭教育推進事業																														
30 年度達成目標	開催案内とともに前年度実施団体の開催状況を報告集として冊子にまとめ、市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校に配布し、事業に対する啓発を図りながら、家庭教育推進事業の定着に努める。																														
目標の達成状況	団体から提出された実施報告書では、開催内容に対しての満足度は非常に高く、参加された保護者からも大変喜ばれている。実施団体数は前年と変わらないものの参加者数は前年度よりも大幅に増えているため、それなりの成果は得られた。																														
取組の概要	地域・家庭において「心の燕市8つのチャレンジ」を推進するとともに、家庭教育全般に対する意識を高めることを目的に、市内 48 団体の幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者会および P T A が開催する講演会等の謝礼金に対し、1 団体あたり上限 7,000 円の助成を行った。 【過去 5 年の実施状況】 <table><tr><th>年度</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr><tr><td>目標団体数</td><td>35</td><td>35</td><td>38</td><td>38</td><td>38</td></tr><tr><td>実施団体数</td><td>30</td><td>32</td><td>32</td><td>28</td><td>28</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>3,427</td><td>3,939</td><td>4,623</td><td>4,162</td><td>4,426</td></tr><tr><td>達成率</td><td>85.7%</td><td>91.4%</td><td>84.2%</td><td>73.7%</td><td>73.7%</td></tr></table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	目標団体数	35	35	38	38	38	実施団体数	30	32	32	28	28	参加者数	3,427	3,939	4,623	4,162	4,426	達成率	85.7%	91.4%	84.2%	73.7%	73.7%
年度	H26	H27	H28	H29	H30																										
目標団体数	35	35	38	38	38																										
実施団体数	30	32	32	28	28																										
参加者数	3,427	3,939	4,623	4,162	4,426																										
達成率	85.7%	91.4%	84.2%	73.7%	73.7%																										
自己評価	実施状況を精査すると幼稚園、保育園、子ども園においては、ほぼ全団体からの申請があり、この事業への理解が高いものと感じられる。 その反面、小・中学校の P T A からの参加が近年減少しつつある傾向にあるが、子どもたちを取り巻く、いじめ・不登校あるいはスマホの普及による学力低下、睡眠不足問題など、家庭教育全般に対する意識向上の必要性を理解してもらいながら、今後は学校関係者と連絡を密に取りながら実施の推進に努める。																														

評価委員の評価	小・中学校のPTAからの参加が近年減少しつつあるとのことであるが、小学校などはPTA活動費で講演会の予算確保ができることから、申請数の減少は学校予算で充足できていることが大きな要因と考えられる。 一方で、幼稚園、保育園、こども園がこの事業の中心となるのは妥当なところと思われる。今後、これらの団体に対して、講師や活動例の周知を実施し、より多く団体が助成の活用を図ることができるよう検討いただきたい。
今後の方向性	幼稚園、保育園、こども園においては、園長の理解を得ながら、更なる家庭教育推進事業の定着に努めていく。 また、年度当初に申請案内を送付する際に、前年度実施した団体の活動内容を取りまとめた報告集と一緒に配布し、事業への推進に役立ててもらおう。 小・中学校については、学校独自で開催しているかなど実施状況を精査し、学校関係者と連絡を密に図りながら実施の推進に努めていく。

【所管：社会教育課】

＜心豊かな生涯学習・文化活動の充実＞

点検項目	埋蔵文化財事業
30 年度達成目標	埋蔵文化財の適切な保護と活用を図る。 ・ 各種開発等で損壊の危険がある遺跡の必要な保護措置をとる。 ・ 出土品やこれまでの発掘調査等による成果を展示会などで公開し、市民に燕市の歴史やその魅力を知ってもらい、埋蔵文化財への関心や保護意識の向上を図る。
目標の達成状況	・ 各種開発に伴う保護措置として、本調査 2 件（どちらも整理作業）、試掘確認調査 3 件、工事立会 6 件を実施。 ・ 遺跡出土品展（平成 30 年度調査速報）を実施し、267 人の来場者を得た。
取組の概要	・ 各種開発への対応は随時、開発事業者と協議して遺跡の取扱いを決定している。 ・ 埋蔵文化財の公開・活用事業として、毎年「遺跡出土品展」を開催している。
自己評価	・ 各種開発への対応は、開発事業スケジュールと調整し実施している。 ・ 公開活用事業は、発掘調査事業量の増大により、ここ数年は小規模開催だが毎年必ず実施しており、市民へ調査成果の還元、魅力の発信を行っている。
評価委員の評価	埋蔵文化財の発掘などは地味な作業と見られるが、文化財を守る重要な事業と考えている。 また、この事業の魅力発信のひとつとして、子ども向けのチラシなどを作り、「市ではこのようなことをやっている」といった周知の仕方もあってよいと思う。 発掘調査報告書は学術的な内容が強く、一般には難解に感じる。有名な遺跡なども含め、分かりやすい資料などで積極的なPRに努めていただきたい。

今後の方向性	各種開発行為に対しては、今後も開発事業者と協議し、埋蔵文化財の適切な保護に努めていく。 公開活用としては、出土品展以外の取組みとして、分かりやすくまとめた資料（パンフレット）の作成配布など検討していきたい。 また、文化財を題材にした動画制作・公開の「ブラつばめ」事業でも取り上げ、一層の事業PRに努めていきたい。
---------------	---

【所管：社会教育課】

＜健全な心と体を支えるスポーツの推進＞

点検項目	ホストタウン推進事業
30 年度達成目標	2020 年東京オリンピック・パラリンピックにかかる事前合宿誘致を目指しながら、スポーツ振興・ボランティア活動・国際交流の推進を実施。また 28 年度にモンゴル国パラアーチェリー協会と締結した東京パラリンピック競技大会にかかる事前キャンプに関する覚書に基づき、選手団の合宿の実施とスポーツと異文化活動の交流の促進を図る。
目標の達成状況	【ホストタウン交流事業】 モンゴル国パラアーチェリー選手団の合宿を実施するとともに、既存の「モンゴル語入門講座」、「あすチャレ！School」の開催に加え、パラアスリート講師による「あすチャレ！Academy」、「スポーツ・食育セミナー」を新規に実施した。 【東京五輪キャンプ誘致事業】 ミズノビクトリークリニック事業実施。オリンピック等による講演会を実施。また、ホームページ等で施設情報を発信した。
取組の概要	【ホストタウン交流事業】 パラアーチェリー選手団の合宿に伴い、地元高校との合同練習他、アーチェリー部品を製造している市内企業の見学、「もとまちきゅうり」の収穫体験等、燕市滞在中に各種親善交流・体験を実施。「あすチャレ！Academy」では、パラアスリート山本講師（パワーリフティング）によるセミナー、「スポーツ・食育セミナー」ではオリパラ等経済協議会と提携し、味の素の篠澤氏による「食とアミノ酸コンディショニング講習会」を実施した。 【東京五輪キャンプ誘致事業】 ミズノビクトリークリニック実施に伴い、リオ・オリンピック銀メダリストの飯塚翔太選手による陸上競技講習会を実施した。 また、関連事業として、宇佐美彰朗氏によるスポーツ指導者講習会を実施し、機運の成就を図った。

自己評価	【ホストタウン交流事業】 29 年度に実施出来なかった合宿を実現することが出来、各種交流等一定の成果があったと思われるが、一方でモンゴル語講座への参加者は1 桁の状況であり、市民の間での興味・関心を一層盛り上げる努力が必要と思われる。 【東京五輪キャンプ誘致事業】 モンゴル国以外に事前合宿等の実施には至らず、引き続き積極的な情報収集と情報発信・誘致活動が必要と思われる。
評価委員の評価	異文化に触れるのは重要で、身近にその機会があることは大いに評価できる。モンゴル選手団はとてもフレンドリーであり、この事業をきっかけに市民の間で機運が盛り上がり、燕市のスポーツが発展していくことを期待している。 また、モンゴル語講座については、受講後に選手のお世話をする機会を設けるなど、何か発展的なものがあると、興味が進み参加者が増えるのではないかと思うが、検討をお願いしたい。
今後の方向性	今後もモンゴル国パラアーチェリー選手団の事前キャンプ及び交流事業を継続するとともに、オリンピック出場国のホストタウン誘致活動を積極的に進めていく。また、子どもたちの夢の実現や技術の向上を応援するため、引き続きオリンピックによるクリニックなどを開催する。 さらに、障がい者への理解を一層深めるため、今後もパラアスリートのリアルな声を聴く「あすチャレスクール」や「あすチャレアカデミー」を開催する。 モンゴル語講座については、これまでの講座に加えて、受講者のモンゴル国パラアーチェリー選手団事前合宿でのボランティア活動や選手団との交流会への参加なども募集内容に入れるなどして、受講者拡大に向けて取り組んでいきたいと考えている。

【所管：社会教育課】

【第2次燕市学校教育基本計画】

第2次燕市学校教育基本計画の評価

～平成30年度の指標について～

目標1:「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます。

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H29	H30	H30 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	80.4%	○ 73.0%	○ 72.8%	62.7%	<83%>	<85%>
		中学3年生	33.7%	○ 43.5%	▼ 41.1%	45.6%	<35%>	<40%>
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	86.2%	▼ 84.6%	○ 87.9%	85.1%	<90%>	<90%>
		中学3年生	71.5%	○ 72.1%	○ 72.6%	72.4%	<75%>	<80%>
全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※ 国語A・B、算数・数学A・Bの全8教科	全国学力・学習状況調査	小学6年生	4教科	3教科	2教科		<4教科>	<4教科>
		中学3年生	2教科	3教科	3教科		<4教科>	<4教科>
標準学力検査偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中学1年生の英語を除く全8教科	全国標準学力調査(NRT)	中学1年生	2教科	2教科	2教科		<2教科>	<2教科>
		中学2年生	3教科	3教科	3教科		<3教科>	<3教科>
		中学3年生	1教科	2教科	2教科		<3教科>	<3教科>
「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	97.7%	○ 95.9%	○ 96.0%	94.5%	<100%>	<100%>
		中学3年生	93.0%	○ 95.4%	○ 94.5%	91.9%	<100%>	<100%>

＜評価委員の評価＞

・指標項目『「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合』について、例年の夏まつりなどでは、多くの中学生、高校生も参加し、若者がたくさん盛り上げているイメージがある。調査結果では前年度調査と比較して減少が見られたが、設問の理解度の違いもその要因と考えられる。

＜今後の方向性＞

- ・Good Jobつばめ推進事業を中核に据えながら、ふるさと燕への愛着や誇りを育んでいく。
- ・各校と連携し、児童生徒の確かな学力の定着・向上を目指して取り組んでいく。

目標2:「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います。

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H29	H30	H30 全国平均	中間目標値 H31	目標値 H34
			H27					
「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合	研修講座アンケート	教職員	72.3% ※H26	94.3%	94.9%		<75%>	<80%>
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	89.0%	○ 87.4%	—	—	<90%>	<92%>
		中学3年生	84.4%	○ 81.9%	—	—	<85%>	<87%>
「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	75.4%	○ 78.8%	○ 87.9%	84.0%	<78%>	<80%>
		中学3年生	70.0%	○ 74.4%	○ 81.9%	78.8%	<73%>	<75%>
「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	100.0%	○ 100%	○ 100%	92.2%	<100%>	<100%>
		中学校	80.0%	○ 100%	○ 100%	92.2%	<100%>	<100%>

＜評価委員の評価＞

- ・目標2については、前年度の結果や平成27年度の基準値と比較すると、全体的に数値の上昇がみられ、取り組みの効果があるものと評価できる。
- ・家庭においても、普段から「子をほめる」ことを習慣づけることで、児童生徒の自己肯定感が高まることから、家庭への支援も取り組んでいただきたい。

＜今後の方向性＞

- ・「学校に行くのは楽しいと思う」の質問項目が、平成30年度の学習状況調査から削除されたため、実績値の記載ができなかったが、同学習状況調査の質問項目「先生は、あなたのよいところを認めてくれているか」の問いに対して、肯定的な回答をした児童生徒が全国平均よりも高い割合であったことなどを考えると、「学校へ行くのは楽しい」と考える児童生徒も多いのではないかと推測される。今後も、児童生徒の自己肯定感が高まるような教職員のかかわりを大事にしていくよう、学校への指導を継続していきたい。

目標3: 学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます。

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H29	H30	H30 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ①教育目標の共有 ②授業研究などの合同研修 ③教育課程に関する共通の取組 ※H29から3項目に変更	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	66.7%	▼①66.7% ○②86.7% ○③73.3%	①－ ○②80.0% ▼③60.0%	①－ ②76.5% ③69.2%	<80%>	<80%>
		中学校	60.0%	○①80.0% ○②100% ○③60.0%	①－ ○②86.6% ○③100%	①－ ②69.5% ③63.1%	<80%>	<80%>
学校支援ボランティア活動支援のべ回数	地域に根ざす学校応援団事業報告書	ボランティア	4,237回	3,693回	3,868回		<4,300回>	<4,400回>

＜評価委員の評価＞

- ・引き続き環境改善に取り組んでいただきたい。

＜今後の方向性＞

・学校支援ボランティア活動支援のべ回数は、平成29年度と比べ上昇しており、新規ボランティアとして加わる方の数も少しずつ増えてきている。今後、さらなる拡充を目指して取り組んでいく。

目標4:安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります。

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H29	H30	H30 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	94.5%	▼ 94.3%	—	—	<96%>	<98%>
		中学3年生	95.3%	○ 95.6%	—	—	<96%>	<98%>
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.5%	○ 85.8%	—	—	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.8%	○ 88.2%	—	—	<96%>	<98%>
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	96.8%	○ 96.6%	○ 98.2%	96.8%	<100%>	<100%>
		中学3年生	95.6%	○ 96.5%	○ 96.5%	92.8%	<100%>	<100%>
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.7%	○ 94.4%	○ 97.0%	92.5%	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.0%	○ 94.1%	○ 98.5%	95.5%	<96%>	<98%>

＜評価委員の評価＞

- ・いじめの問題について、最近は深刻な事例が相次いで発生しており、常に安心はできないものと考えている。「いじめはどんな理由があっても良くないこと」とする意識付けを継続して行っていただきたい。
- ・「人の役に立ちたい」と回答した児童生徒の割合では、数値の上昇がみられ、Jack&Bettyプロジェクト等の取り組みの成果として評価できるものである。

＜今後の方向性＞

- ・いじめに対する対応は、喫緊の課題としてとらえ、教職員研修等をとおして、いじめの未然防止や早期発見・早期対応ができるよう取り組んでいく。

Ⅳ 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

○4月定例教育委員会【平成30年4月25日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

報 告：報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

報告第5号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

協議題：協議第2号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第14号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第15号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第16号 学校評議員の委嘱について

議案第17号 燕市いきいき課外活動検討委員会設置要綱の制定について

議案第18号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

○5月定例教育委員会【平成30年5月28日（月）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報 告：報告第6号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第19号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第20号 燕市いきいき課外活動検討委員会委員の委嘱について

議案第21号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第22号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第23号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第24号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について

議案第25号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第26号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第27号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第28号 燕市立学校教職員安全衛生管理規則の一部改正について

議案第29号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の任命について

その他：（1）平成30年第2回燕市議会臨時会（教育委員会抜粋）

1）栗生津小学校大規模改造工事に係る契約の締結について

（2）「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の選任について

（3）「新潟県部活動の在り方に係る方針」について

○6月定例教育委員会【平成30年6月29日（金）】

諸報告：（1）教育長職務代理者の指名について

（2）行事報告及び行事予定

（3）教育長報告

（4）寄附報告

報告：報告第7号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 新規共催・後援申請について

議案：議案第30号 燕市いきいき課外活動検討委員会設置要綱の一部改正について

議案第31号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

その他：（1）平成30年度第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）平成30年度燕市一般会計補正予算（第3号）の概要について

2）一般質問の概要

（2）「Jack&Betty プロジェクト海外派遣事業」親善大使について

（3）燕市まちづくり出前講座について

（4）吉田高校サポート協議会設立総会について

○7月定例教育委員会【平成30年7月25日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第8号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第5号 新規共催・後援申請について

議案：議案第32号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第33号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

○8月定例教育委員会【平成30年8月23日（木）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第6号 新規共催・後援申請について

その他：（1）公共施設のブロック塀等の点検調査結果について

（2）大関小学校体育館外壁改修事業について

（3）市内小学校等の教室にエアコンの設置を求める要望について

○9月定例教育委員会【平成30年9月21日（金）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

報 告：報告第 10 号 共催・後援の教育長専決報告について
報告第 11 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について
報告第 12 号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について
協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について
その他：(1) 平成 30 年第 3 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
1) 燕市立幼稚園条例の一部改正について
2) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）の概要について
3) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 6 号）の概要について
4) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 7 号）の概要について
2) 一般質問の概要
(2) 平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

○10 月定例教育委員会【平成 30 年 10 月 29 日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 13 号 共催・後援の教育長専決報告について

報告第 14 号 燕市一時保育事業実施要綱の一部改正について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 34 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

その他：(1) 齋藤和夫前教育委員の地方教育行政功労者表彰の受賞について
(2) 分水小学校区における保育園の整備・運営事業者募集要項について

○11 月定例教育委員会【平成 30 年 11 月 27 日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 15 号 共催・後援の教育長専決報告について

その他：(1) 燕キャプテンミーティングの実施について

○12 月定例教育委員会【平成 30 年 12 月 26 日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 16 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 9 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 35 号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

議案第 36 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 37 号 燕市立保育園及び認定こども園延長保育事業実施要綱の一部改正について

その他：(1) 平成 30 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 燕市入学準備金貸付基金条例の制定について
- 2) 燕市入学準備金貸付条例の制定について
- 3) 燕市保育園条例の一部改正について
- 4) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について
- 5) 一般質問の概要について
- 6) 社会教育施設使用料見直しの検討状況について

(2) 子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査の実施について

○1 月定例教育委員会【平成 31 年 1 月 31 日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報 告：報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 1 号 燕市図書館協議会運営規則の一部改正について

その他：(1) 平成 30 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者（案）について

(2) 平成 31 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 11 号）の概要について

○2 月定例教育委員会【平成 31 年 2 月 21 日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報 告：報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 2 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

その他：(1) 平成 31 年度当初予算（案）のポイントについて

○2 月臨時教育委員会【平成 31 年 2 月 27 日（水）】

議 案：議案第 3 号 燕市立小・中学校管理職の人事異動について

○3 月定例教育委員会【平成 31 年 3 月 26 日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 2 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 4 号 学校医の委嘱について

議案第 5 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 6 号 燕市部活動指導員設置要綱の制定について

議案第 7 号 燕市英語指導助手の勤務条件に関する要綱の一部改正について

議案第 8 号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について

議案第 9 号 燕市つばくろいきいきスポーツクラブ設置要綱の制定について

議案第 10 号 第 2 次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画について

議案第 11 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 12 号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

その他：(1) 平成 31 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について

2) 一般質問の概要について

3) 燕市教育委員会教育長の任命について

(2) 平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

2 総合教育会議

○第 1 回総合教育会議【平成 30 年 11 月 27 日（火）】

議題：人口減少対策について

・子育て支援の現状と課題について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
平成 30 年 5 月 24 日（木）～ 5 月 25 日（金）	富士市立高等学校	・富士市と高校の連携による「世代間交流の促進による地域づくり人材の育成」について
	藤枝市子育て支援施設「藤枝おやこ館」	・保育士・幼稚園教諭人財バンク“enjob ふじえだ”について ・空き店舗を活用した子育て支援施設「藤枝おやこ館」の運営について

4 教育関係会議への出席

- ・全県教育長会議（4/19（木）新潟県自治会館）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（5/21（月）十日町市）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5/25（金）静岡県藤枝市）
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会（7/13（金）見附市）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/16（火）村上市）